

第3回

岐阜県小児在宅医療研究会

医療的ケアを要する重症心身障がい児が年々増加し、多くが在宅生活を送るようになっていきます。しかし、その支援を行うための医療・福祉などの社会資源は限られており、連携も不十分な状況にあります。岐阜県では、自宅で生活する障がい児（者）に対する医療・福祉サービスの充実を図るため、医療・看護・福祉・教育・行政などの関係者が一堂に会し、課題の解決に向けて知恵を出し合うとともに、顔の見える関係をつくる場づくりを目指し、岐阜県小児在宅医療研究会を開催しています。第3回は「障がい児者の在宅看護を考える」をテーマに開催します。皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

テーマ 障がい児者の在宅看護を考える

日時 平成26年12月7日（日）13:30～17:00（開場 13:00）

場所 岐阜県立看護大学 講堂

（羽島市江吉良町3047-1）

定員
200名様
（先着順）
参加無料

プログラム

13:30～13:35 開会あいさつ

土井 充行 岐阜県健康福祉部次長

13:35～15:05 基調講演

「訪問看護で暮らしやすい街を作る～相談支援機能でつながる子ども達～」

梶原 厚子 医療法人財団はるたか会・NPOあおぞらネット統括看護管理者

15:15～15:25 岐阜県における小児・障がい児在宅医療地域資源調査の結果について

藤川 祐樹 岐阜県障がい児者医療推進室主査

15:25～16:55 パネルディスカッション「在宅看護の現場における取組と課題」

座長 杉浦 太一 岐阜大学医学部看護学科母子看護学講座小児看護学分野教授

・報告：15:25～16:25

①「重症児の訪問看護を行う中で考える課題と展望」

中川 みのり 訪問看護ステーション イーナース所長

②「初めて小児・障がい児訪問看護に取り組んだ経過と現状」

高橋 陽子 陽和彩訪問看護ステーション管理者

③「介入困難な家族への関わり～介護者・家族の思いを尊重して～」

安田 尚美 大垣市訪問看護ステーション所長

④「在宅生活を支えるための多職種連携について～訪問看護ステーションの役割～」

稗田 まゆみ 下呂訪問看護ステーション看護師

・ディスカッション：16:25～16:55

16:55～17:00

県からの報告・閉会あいさつ

都竹 淳也 岐阜県障がい児者医療推進室長

主催：岐阜県

後援：岐阜県医師会・岐阜県小児科医会・岐阜県歯科医師会・岐阜県看護協会
お問い合わせ（事務局）：岐阜県健康福祉部地域医療推進課 障がい児者医療推進室
〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 TEL (058) 272-8279 FAX (058) 278-2871